

火山：桜島について調べよう

① 桜島とは？

鹿児島県の中央部、鹿児島湾にある活火山。鹿児島のシンボルとして知られる。かつては島であったが、大正3年の噴火で溶岩が流れだして、大隅半島と陸続きになった。

② 概要を調べる

「ポプラディア7」ポプラ社（2021）

→ p 69 桜島の大きさや形、交通についてや、噴火の様子、産物などの記載がある。

NDC 291・453 → 「桜島・火山」に関する本がある。

③ 詳しく調べる

関連キーワード

鹿児島湾／大正大噴火／霧島錦江湾国立公園／鹿児島市／火山灰／桜島大根／活火山

NDC 09 郷土のコーナー→ 「桜島」に関連する本がある。

NDC 453 火山の中にも桜島に関する本がある。

この図書館にある桜島に関する本



「生きている火山」



「日本の火山」



「火山とくらす」

「火山の国に生きる」シリーズ3巻 井口正人：監修 「宮武健：仁写真
くもん出版 NDC 453 ミ



「火山は生きている」科学のアルバム
青木章 あかね書房 NDC 453 ア



「世界の火山図鑑」
須藤茂 誠文堂新光社 NDC 453 ス



「桜島! まるごと絵本」
さめしまことえ 燦燦舎
NDC 291 サ



「桜島の赤い火」
宮武健仁 福音館書店
NDC E ミ

「さくらじまの海」 鹿児島水族館 NDC 487 カ

「かごしまの心 桜島のうた」 星原昌一 星企画 NDC 748 ゴ

「桜島噴火記」 柳川喜郎 日本放送出版協 NDC 369 ヤ

「さくらじま」 奈良迫ミチ 火の鳥社 NDC 914 ナ